

教育委員会だより

第44号（令和8年1月～4月）

発行者

池田町・養基組合教育委員会

池田町六之井1468-1

tel. 0585-45-3111 fax. 0585-45-8314

e-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

入学・進級 おめでとうございます

教育長 高橋利行

新しい年度、令和8年度がスタートしました。小学校や中学校へ入学された皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様にもお祝いを述べさせていただきます。また、進級された皆さんは、新しい年に気分も新たに希望を持って進まれたことと思います。おめでとうございます。

池田町では、子どもたちの未来を第一に考え、「すべては子どもたちの未来のために」という理念のもと「教育大綱」を定め、教育環境の充実に力を注いでいます。池田町の教育は、一人ひとりの「生きる力」を育むことを目的としています。「生きる力」とは、学び、考え、行動する力です。そして、それを支える思いやりや自立心のことです。この「生きる力」は、子どもたち同士のふれあいを通してこそ育んでいけると考えています。この町の自然豊かな環境や文化の中で、多様な体験を重ねて子どもたちが大きく成長してくれるよう、どの学校も日々の教育活動を行っていきます。また、子どもの教育は学校だけの力ではできません。町全体で子どもを育てるためにも家庭や地域社会と手を取り合い、子どもたちを力強く支える環境を築いていきたいと考えています。どうか町民の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

令和7年度二十歳を祝う会

令和7年度「二十歳を祝う会」が1月11日（日）、平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれの二十歳の節目を迎えた方を対象に、池田町中央公民館で開催されました。

当日は、色とりどりの晴れ着やスーツに身を包み、晴れやかな笑顔で懐かしい同級生との再会を楽しむ姿があらうこちらで見られ、式典では二十歳の小寺漱空さんが司会を務めました。

式辞で竹中町長は、「皆さんの今までの人生は与えられることが多かったと思います。これから自ら掴みに行き行動を起こすこと、人に手をさしのべることを自らの喜びにかえていくこと、家族を大切にすることの3点をぜひ実践していただきたい。皆さんそれぞれの人生が充実し幸せに満ちたものとなるよう祈念しています」と、メッセージを贈りました。

また、二十歳代表の佐竹麻里伽さんは、多くの



お祝いの言葉に込め、これまで出会った方へのお礼の言葉に込め、感謝とともに「現代は、数年前の当たり前がすぐに通用しなくなる世界ですが、変化を恐れず楽しむ気持ちで、自分で選んだ道を自分自身の

正解にしていこうという強い覚悟を抱き、成人として責任を持つて生きていきます」と謝辞を述べ式典が終了しました。

式典後の池田少年少女合唱団の歌の披露の際には、中学校時代の思い出の曲

『大切なもの』を一緒に合唱し、二十歳の交流会（同窓会）では、恩師を交え互いの近況報告をしたり写真撮影をしたりとそれぞれが交流を楽しみました。

第2回初任者研修会

令和7年12月2日に開催され、初任者教員5名が参加しました。

まず、初任の先生方から、9ヶ月の成果と課題の発表があり、教育委員との意見交換が行われました。子どもや周りの先生方との「コミュニケーション」を大切にすることや、子どもの表情の変化や言葉から思いを感じ取り、適切な支援や指導を行うこと、子どもの大切な1時間を無駄にしないよう、ねらいを明確にした授業を行うことなど、目標を持って取り組む姿を頼もしく感じました。

また、初任者教員と教育委員との小集団交流も行われました。日頃の授業や指導、学校生活における思いや悩みなど、より細かな部分にフォーカ



スして有意義な交流を行うことができました。

その後、教育長より講話がありました。人生を主体的に自らの足で歩いていける子どもを育てるために教師としてできることに全力で取り組むことや、子どもの人格を尊重すること、絶えず授業研究に取り組むことなどについてお話がありました。



最後に「子どもの自己受容を高めるような声掛けの仕方」についてありのままを受け止められていると子どもが感じられるような効果的な声掛けの仕方についてワークショップが行われました。

今後一層の活躍を期待しています。

池田町総合教育会議

3月17日、庁舎会議室で開催されました。池田町長、各小学校長、教育委員会事務局・教育委員が参加しました。主な議題は「教師が生きがいをもって 子どもと関わる環境づくりのために」で、学校の教育職員に関する業務管理・健康確保措置実施計画についてでした。これは、国から各市町教育委員会での計画づくりを求められているものです。これまで教員が担ってきた業務を他団体や関係者に委託しながら少しずつ軽減を図ることで、



教員の時間外勤務時間を目標値に近づけ、ゆとりをもって子どもたちに向き合えるようにすることを目指します。

校長先生方からは、各学校で時間外勤務の状況や繁忙期に無理のない勤務ができるような工夫や努力について、また、部活動の地域展開が進む中での成果や課題についての説明がありました。参加者からは、児童、生徒、教職員の具体的な様子についての質問やこの計画についての感想等が出されました。

これまで教員が勤務時間外であっても当たり前のように担ってきた業務を見直し、本来の教員としての仕事に専念できることは、子どもたちに寄り添う時間を増やすことができ、教育の質の向上につながります。時には、「これって先生の仕事じゃないの?」と思われることもあるかもしれませんが、今後は、家庭、地域、他団体へお願いすることもあると思いますので、この計画の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和7年度卒業式

桜の蕾が膨らみ始めた春の良き日、池田中3月6日、各小学校3月25日に卒業式が行われ、池田中218名、温知小78名、池田小52名、宮地小14名、八幡小50名、養基小31名(含む揖斐川町)の児童生徒が卒業しました。ご卒業おめでとございます。



池田中



晴れやかな空気のもと、池田中の卒業式が行われました。卒業生たちは学校生活での思い出を振り返りつつ、仲間たちとの別れを惜しむ一方で、未来への期待を胸に希望に満ちた新たな一歩を踏み出しました。

温知小



卒業生による最後の合唱「ふるさと」(風の曲)と「旅立ちの日に」歌声から、どの子も誠実に6年間を歩んできた証しと感謝を感じ取ることができました。78名の卒業生の未来に幸多かれとお祈りしています。



卒業生からの「別れの言葉」
が、大変印象的でした。

14名の卒業生が、少し大きめの中学校の制服に身を包み、卒業証書を受け取りました。

宮地小



校長式辞ではアンパンマンのぬいぐるみが出てきて「アンパンマンのようにみんなのために行動できる人になり」というお言葉が印象に残りました。
卒業生一人ひとりの表情からは、これまでの成長とこれからの希望が伝わってきました。

池田小



養基小



卒業生一人ひとりの、堂々とした卒業スピーチは中学生になる希望に溢れていました。校長先生からは、養基小をリードしてくれたことへの感謝とはなむけの言葉が贈られました。最後に、31名の心が一つになった合唱「いのちの歌」が響き、門出にふさわしい卒業式でした。

校長式辞の中で、運動会やほりんこ活動での優しく頼りになる最上級生らしい活躍ぶりが紹介されました。
卒業生の合唱は、清らかな歌声と柔らかな表情が印象的で、よびかけの言葉も心に響きました。笑顔あり、涙ありの感動的な卒業式でした。

八幡小



温知小



春の日差しの中、池田中の入学式が厳かに行われました。真新しい制服に袖を通した新入生たちは式が進むにつれ、緊張した表情は次第にはころび、新生活への期待が膨らむ姿が見られました。

池田中



4月8日、校庭の桜の花びらが舞う中、池田中では午前中に、各小学校では午後から各学校で入学式が行われ、池田中208名、温知小50名、池田小36名、宮地小6名、八幡小37名、養基小26名(含む揖斐川町の児童生徒が入学しました。
ご入学おめでとうございます。

令和8年度入学式

6年生の代表の児童から、元気な体にするために「早寝、早起き、朝ご飯」が大事であることや、大切にしている活動「あいさつ・掃除・ボランティア」について説明がありました。

池田小



晴れやかな雰囲気の中、新入生の皆さんの緊張と期待が伝わってきました。

5・6年生からのビデオメッセージがあり温かく迎えられる様子が感じられる心温まる式でした。

宮地小



6名が新しく1年生になりました。

新入生紹介のほかに、校長先生の式辞の中でも一人ひとりが丁寧に名前を呼ばれました。

小規模校ならではの大変良い雰囲気でした。

八幡小



竹中町長をはじめ来賓、保護者、職員が37人の1年生の入学をお祝いしました。新2年生からプレゼン動画で行事や校歌などの紹介が行われ、校長式辞では、「やわた」の頭文字から「やさしい子に」「わくわくしながら勉強を」「たくましく丈夫な体」のお話がありました。

養基小



校長先生から、自分の気持ちを素直に伝えることが大切ですよとお話がありました。

式辞や祝辞の問いかけの言葉に自分の気持ちに素直に答える姿が印象的でした。



編集後記

今年2月のミラノ・コルティナオリンピックでは、池田町出身の堀島行真選手がスキーマーグルで銅メダル、銀メダルを獲得されました。池田町3会場で行われたパブリックビューイングは、町民皆の声援で盛り上がりました。

今年の春は寒暖差が激しく、インフルエンザによる学級閉鎖もありましたが、各校無事1年間の教育活動を修了し、卒業生は元気に巣立っていきました。

卒業・入学のおめでたい時期に小学生失踪という世の中を震撼とさせる事件がありました。改めて、子どもたちの安全を学校、家庭、地域で見守ることの大切さを実感しました。今年度も登下校の見守り等、子どもたちが安心安全な生活を送れますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度も教育委員会の活動がよりよく伝わるような発行を目指しますので、本たよりについて、お気付きの点があれば、お知らせください。編集担当：林 啓子・勝野 茂優

教育委員会の主な活動報告

令和8年1月～4月

日付	活動	場所
1月11日	池田町二十歳を祝う会	池田町中央公民館
30日	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
2月20日	〃	〃
3月17日	〃	〃
〃	池田町総合教育会議	〃
6日	中学校卒業式	池田中学校
25日	小学校卒業式	各小学校
4月1日	町教職員着任式	池田町中央公民館
8日	小学校・中学校入学式	中学校・各小学校
16日	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
〃	教育委員会だより編集会議	〃
28日	南部校長会・教育委員会合同会議	〃